

令和4年度上半期経営状況について

1 業務の状況(上半期)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	
入院	延患者数	R 4	7,290	7,688	7,011	7,997	7,724	6,802	44,512
		R 2	6,672	6,531	6,723	7,399	8,032	6,885	42,242
		増減	618	1,157	288	598	▲308	▲83	2,270
	一日平均患者数	R 4	243.0	248.0	233.7	258.0	249.2	226.7	243.2
		R 2	222.4	210.7	224.1	238.7	259.1	229.5	230.8
		増減	20.6	37.3	9.6	19.3	▲9.9	▲2.8	12.4
診療単価(円)	R 4	63,394	59,096	56,622	58,175	59,728	60,457	59,563	
	R 2	55,949	58,576	54,340	53,679	54,700	58,699	55,912	
	増減	7,445	520	2,282	4,496	5,028	1,758	3,651	
外来	延患者数	R 4	11,927	12,218	12,759	12,603	13,627	12,350	75,484
		R 2	11,985	10,886	12,813	13,952	12,995	12,923	75,554
		増減	▲58	1,332	▲54	▲1,349	632	▲573	▲70
	一日平均患者数	R 4	596.4	643.1	580.0	630.2	619.4	617.5	613.7
		R 2	570.7	604.8	582.4	664.4	649.8	646.2	619.3
		増減	25.7	38.3	▲2.4	▲34.2	▲30.4	▲28.7	▲5.6
診療単価(円)	R 4	16,267	16,175	14,997	15,865	16,268	16,243	15,966	
	R 2	14,135	14,405	13,383	14,011	13,779	13,726	13,892	
	増減	2,132	1,770	1,614	1,854	2,489	2,517	2,074	

(前提条件)

- 収益は、実際の収入を計上している。
- 費用は、執行が年度末に偏る傾向があるため、令和4年度は予算額を、令和2年度は決算額をそれぞれ12分割で計上している。(全て税抜)そのため、他の公表している資料(告示資料等)とは数字が異なる場合がある。
- 改善目標額3.55億円は、令和2年度を基準年としているため比較年度を令和2年度としている。

1 上半期の経営状況について

- 業務量の状況
 - ア 入院患者数については、令和2年度と比較すると、延患者数で2,270人、一日平均患者数で12.4人増加している。
 - イ 外来患者数については、延患者数で70人、一日平均患者数で5.6人減少している。
 - ウ 診療単価については、入院で3,651円増の59,563円、外来で2,074円増の15,966円となっている。

(2) 経理の状況

- 入院収益、外来収益ともに診療単価の増加により、令和2年度と比較すると大きく増加している。
- イ その他医業収益(エ)の347,311千円の増加については、新型コロナウイルス感染症対応に係る休床・空床補償等(約320,000千円)である。
- ウ 以上の結果、収益全体において763,374千円の増加となっており、収支差額は462,509千円の増加となっている。

2 経営の状況(上半期)

(千円)

科 目	年度	第一四半期			第二四半期			上半期
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
病院事業収益(A) (ア)+(オ)	R 4	689,131	684,422	947,278	702,162	730,304	678,713	4,432,010
	R 2	569,826	565,981	572,002	628,364	656,299	676,164	3,668,636
	増減	119,305	118,441	375,276	73,798	74,005	2,549	763,374
病院医業収益(ア) (イ)+(ウ)+(エ)	R 4	675,423	671,550	934,324	689,836	716,930	636,989	4,325,052
	R 2	556,529	554,298	558,365	615,006	643,505	605,053	3,532,756
	増減	118,894	117,252	375,959	74,830	73,425	31,936	792,296
入院収益(イ)	R 4	462,140	454,330	396,980	465,227	461,340	411,229	2,651,246
	R 2	373,295	382,559	365,330	397,168	439,353	404,140	2,361,845
	増減	88,845	71,771	31,650	68,059	21,987	7,089	289,401
外来収益(ウ)	R 4	194,015	197,627	191,347	199,944	221,682	200,598	1,205,213
	R 2	169,408	156,817	171,472	195,481	179,064	177,387	1,049,629
	増減	24,607	40,810	19,875	4,463	42,618	23,211	155,584
その他(エ)	R 4	19,268	19,593	345,997	24,665	33,908	25,162	468,593
	R 2	13,826	14,922	21,563	22,357	25,088	23,526	121,282
	増減	5,442	4,671	324,434	2,308	8,820	1,636	347,311
その他の収益(オ)	R 4	13,708	12,872	12,954	12,326	13,374	41,724	106,958
	R 2	13,297	11,683	13,637	13,358	12,794	71,111	135,880
	増減	411	1,189	▲683	▲1,032	580	▲29,387	▲28,922

科 目	年度	第一四半期			第二四半期			上半期
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
病院事業費用(B) (カ)+(コ)	R 4	822,054	822,059	822,059	822,059	822,059	822,059	4,932,349
	R 2	771,914	771,914	771,914	771,914	771,914	771,914	4,631,484
	増減	50,140	50,145	50,145	50,145	50,145	50,145	300,865
病院医業費用(カ) (キ)+(ク)+(ケ)	R 4	762,195	762,205	762,205	762,205	762,205	762,205	4,573,220
	R 2	700,023	700,022	700,022	700,022	700,022	700,022	4,200,133
	増減	62,172	62,183	62,183	62,183	62,183	62,183	373,087
給与費(キ)	R 4	349,101	349,106	349,106	349,106	349,106	349,106	2,094,631
	R 2	336,420	336,420	336,420	336,420	336,420	336,420	2,018,520
	増減	12,681	12,686	12,686	12,686	12,686	12,686	76,111
材料費(ク)	R 4	192,626	192,625	192,625	192,625	192,625	192,625	1,155,751
	R 2	158,361	158,365	158,365	158,365	158,365	158,365	950,186
	増減	34,265	34,260	34,260	34,260	34,260	34,260	205,565
その他(ケ)	R 4	220,468	220,474	220,474	220,474	220,474	220,474	1,322,838
	R 2	205,242	205,237	205,237	205,237	205,237	205,237	1,231,427
	増減	15,226	15,237	15,237	15,237	15,237	15,237	91,411
その他の費用(コ)	R 4	59,859	59,854	59,854	59,854	59,854	59,854	359,129
	R 2	71,891	71,892	71,892	71,892	71,892	71,892	431,351
	増減	▲12,032	▲12,038	▲12,038	▲12,038	▲12,038	▲12,038	▲72,222

差引収支(A-B)	R 4	▲132,923	▲137,637	125,219	▲119,897	▲91,755	▲143,346	▲500,339
	R 2	▲202,088	▲205,933	▲199,912	▲143,550	▲115,615	▲95,750	▲962,848
	増減	69,165	68,296	325,131	23,653	23,860	▲47,596	462,509

3 懸念材料について

- 当院は、例年、冬季に入院・外来患者数が大きく増加する傾向にあるが、全国的にコロナ禍以前とは受診動態が変化し減少傾向の中、9月は令和2年度を下回り、10月も同様である。この傾向が今後も続くのならば下半期も患者数が確保できない可能性がある。
- 新型コロナウイルス感染症対応に係る休床・空床補償の補助金は、上半期と同水準であると想定した場合、年間で776,172千円となる。しかし、下半期の要件が厳しくなったことから上半期分比べて補助金額が減少する可能性が高い。
 (参考 コロナ病床を開設せずに一般病床としていた場合の予想収益
 $59,049 \text{円} (R3 \text{ 決算単価}) \times 53 \text{床} \times 66.7\% (R3 \text{ 決算病床利用率}) \times 365 \text{日} = 761,916 \text{千円}$)
- 光熱費の上昇のため、75,000千円(税込)を9月補正予算で計上しているが、更に増加する恐れがある。(上半期分には計上せず、10月以降で計上。)

4 今後の対応方針について

(1) 救急応需率の向上による集患強化

- ・ 応需率90%以上かつ年2,000台以上の救急車の受入れ
- ・ 頭部外傷が疑われる整形外傷等の速やかな受入れ
- ・ 脳血管疾患が疑われる場合の速やかな受入れ

(2) 診療報酬制度の理解の深化及び最適化による収益力向上

- ・ 看護補助加算の維持確保
- ・ 地域包括ケア病棟の維持確保

(3) 診療提供体制の回復に向けた対応の強化

- ・ 常勤医確保に向けた派遣大学への要請を基本としつつも、状況によってはそれに拘ることなく関連大学への働きかけ等柔軟な取組
- ・ 兵庫県養成医の確保に向けた県への働きかけ